

子ガメ 海へ シーワールド 今年も保護



砂の中から次々に子ガメが姿をみせた
＝8日朝、鴨川シーワールド提供

鴨川市の鴨川シーワールドが保護していたアカウミガメの卵が今年も次々にかえり、子ガメが海へ旅立っている。

8日早朝には園内の専用展示施設「ウミガメの浜」で、6日に砂の中

で孵化した甲長約4センチの子ガメ55匹が次々に姿を現した。9日夕方に海に放流した。

海に帰された子ガメは、6月6日に近くの海岸で保護した卵144個の一部だ。産卵場所が台風による高波などで流失する恐れがあったため保護していた。

日本はアカウミガメの主要な産卵地で、千葉県は毎年産卵に来る北限域とされる。毎年6～8月にかけて産卵があり、1巢に80～160個を産卵する。波打ち際に近いなど無事に孵化しない恐れがある場合、シーワールドが保護し、孵化させて海に放流。2002年から続けており、今年合計4巢の354個を保護している。

(川上真)